



出農☆大賑わい・生徒☆大活躍

H21年度の大イベント

日頃の学習成果を地域へ発表

十一月十三日、十四日、農業祭が開催されました。「出農で発見、出農で実感」農業が凄いです」というテーマに基づき、生徒は事前の準備から一生懸命頑張りました。初日は、水環境をテーマとしたディスプレイが行われ、地域の現状について生徒は真剣な表情で考えていました。二日目は、生産物の即売や学習成果の展示等が行われ、地域から多くの方にお越しいただきました。



「充実した農業祭」

食品科学科三年 藤井彰 農業祭数ヶ月前から、先生方や私達農業祭の実行委員会のメンバーは、農業初日のオープニングイベントの決定や二日目の催し物や展示について打ち合わせをしたりと、大変忙しい日々を送っていました。農業クラブ会長及び農業祭実行委員長として一生懸命活動し、疲労がたまることもありましたが、高校最後の良い思い出ができました。充実した農業祭で特に印象に残ったことは、オープニングイベントのゲストとして六子さんが来校して下さい、

AFS東アジア青少年大交流会

☆生徒コメント☆

十二月十日、十一日の二日間、オーストラリアやニュージーランド等の高校生十名が本校を訪れ、生徒とともに学習しました。最初は緊張しましたが、少しづつコミュニケーションがとれ、よい経験になりました。今後、こういった国際交流に参加し、農業を肌で感じる機会が来たらと思います。



一緒にパネルディスカッションをしたり、素晴らしい歌の数々を聞かせていただいたことです。また、今年度は「環境にやさしい取り組み」をテーマに、販売活動と共にゴミの分別やリサイクルに力を入れていたので、より生徒に起業家精神が身に付いたのではないかと思います。地域の方々には、日頃より大変お世話になっております。来年・再来年もより一層楽しい農業祭にして行きたいと思っております。どうぞよろしくお祈りします。

生徒会・農ク・家ク役員選挙

先輩の思いをバトンタッチ

十二月九日、生徒会、農業クラブ、家庭クラブの役員選挙が行われました。立会演説では、全校生徒の前で立候補者が堂々と自分の考えを述べていました。



USOを成し遂げたい

生徒会新会長 山根彩花

私は今年度、会計として生徒会の仕事に携わりました。その中で、会長としてみんなをまとめておられる石飛先輩に憧れ、私もみんなをまとめ、一つの事を成し遂げたいと思い立候補しました。今後は、生徒一人ひとりの意見を少しでも多く反映し、学校全体が明るく活気あるものになりたいです。また、生徒会をみなさんの身近な存在にしていきたいと思っています。精一杯頑張りますので、よろしくお祈りします。

行事をもっと盛り上げる

農業クラブ新会長 藤原 陸

農業鑑定競技やプロジェクト発表会等、農業高校にしかない行事を支え、農業学習の活発化に

つなげるのが農業クラブの大きな役目です。私の目標は、これらの行事を更に盛り上げる事です。全校生徒の皆さんの期待に沿えるよう運営してまいりますので、今後よろしくお祈りします。

「今までにない活動を」

家庭クラブ新会長 福島歩

私が会長に立候補した理由は、家庭クラブの研修に参加して他校の方と触れ合いながら学んだ事を実際に行えたらと思ったからです

「新しいスタート」

学校長 桑原 克夫

十二月十五日、学校評議員の遠藤清志さんに学校へ来ていただき短時間で授業を見ていただきました。遠藤さんは本校の卒業生で大学卒業後、自営をなさっている方です。授業参観していただいた後、校長室で高校生だった当時の話や今栽培されているシクラメンなどのお話をしました。ふと遠藤さんの指先を見て思ったことがあります。遠藤さんには断りもなく失礼なことと思いますが、指先が逆に向けて少し荒れていたことです。実は、私も教員をする前、自営で野菜など栽培していた時のことを思い出してしまいました。農業をしていると特に、冬場、水を使う仕事をするとどうしても手が荒れてしまうのです。しかし、そのことが農業を一生懸命している勲章のようなものかもしれません。その頃のことを思い出すと、5時間睡眠でも若かったこともあり、十分何とか仕事ができ、それなりに充実していたように思います。今は、手が荒れることもなくなりました。

後、何日か過ぎれば、新しい年となります。新しい年、新たな出発する気持ちを抱きながら新年を迎えてほしいと思います。生徒の皆さん一人ひとりが大きな夢を持ち、羽ばたいてくれることを期待しています。



「0日」から見た出雲農林高校」

学校評議員 遠藤清志

今年度から学校評議員をさせていただいております遠藤清志です。私も高校三年間を農林高校で過ごし、さまざまな思い出があります。ですが在学中は、その貴重な体験を当たり前のようには思っていました。しかし、大学で普通高校から進学してきた友人と母校の話になった時、「楽しそう、うらやましい」と言われ、自分は恵まれた学習環境にいたんだと実感しました。一番の利点は、卒業後の出口の広さだと思います。四年制大学や専門学校への進学、各種企業への就職や就農等、その気になればどんな進路も選べるという過言ではないと思います。これは、農業という分野の総合性によるものではないでしょうか。農業を実践するには、生物学や化学といった知識、安定収入を得る経営体系や人間関係の構築、そして体力も必要となります。在校生の皆さんには、農業を通して幅広い分野への研磨を積み、自分の興味・関心のあることを突き詰めてもらったらと思います。

環境科学科のために自分達が出来ること

環境科学科の三年生が、湖陵町にある湖水園で、草刈りや、ベンジの植え付けを行いました。これは援農隊活動の一環として、生徒が育てた苗木や草花を利用して緑化環境の整備を図ることを目的としています。ここでは、参加生徒の感想をご紹介します。

環境科学科の三年生が「湖陵町にある湖水園で、草刈りやベンジの植え付けを行いました。これは援農隊活動の一環として、生徒が育てた苗木や草花を利用して緑化環境の整備を図ることを目的としています。ここでは、参加生徒の感想をご紹介します。」



なってもらいたいとともに、「気持ちいいな」と感じてもらいたい。地域の方との触れ合いは、自分の視野を広げるよい機会になります。卒業後は、社会人として自分から積極的にボランティアに参加し、地域の清掃活動等に取り組みたいと思っています。また、普段生活する中でも地域のために自分ができることを小さなことでも少しずつ活動していけたらと思います。

☆新役員紹介☆

- 生徒会執行部
 - 会長・山根彩花(食品二年)
 - 副会長・森山達成(食品二年)
 - 緒方香純(動物二年)
 - 監査・田平あすか(動物二年)
 - 今岡沙希(動物二年)
- 農業クラブ
 - 会長・藤原 陸(植物二年)
 - 副会長・長廻有菜(食品二年)
 - 橋本小百合(食品二年)
 - 監査・佐藤 香(食品二年)
 - 八幡美紀(食品二年)
- 家庭クラブ
 - 会長・福島 歩(植物二年)
 - 副会長・西 佳菜子(食品二年)
 - 岩石美菜(食品二年)
 - 監査・大國美香(植物二年)
 - 波多野緋奈(植物二年)

学習で培った審査眼を発揮

十二月八日、第二回目の農業鑑定競技会が実施されました。日頃の農業学習で培った「審査眼」で、出題品目の名称等を真剣に答えていました。

1月の行事予定		
日	曜	項
1	金	元旦
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	始業式 図書館ガイド
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	
13	水	
14	木	作文テスト(1,2年) 出前チャレンジショップ
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	推薦入試(臨時休業)
20	水	
21	木	
22	金	第3回英検1次
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	卒業考査 SC来校日
29	金	卒業考査
30	土	
31	日	



生徒の創意工夫あふれる経営

本校の生産物を販売するチャレンジショップは、今年一年、二年生が中心となって経営し、集客率を高めるためにはどうすべきか、生産物をPRするためにどうすべきかなど、目標を定めて創意工夫あふれる経営活動を展開してまいりました。

地域の声

私は、出雲農林高校に近い園町に住んでいます。今年一年を通して、数回チャレンジショップにお邪魔させて頂きました。春夏秋冬、四季折々の農産物や加工品が並び、いつも楽しみながら買い物をしています。品揃えの充実さ、品質の良さもそうですが、生徒さんの笑顔を見ると私も元気をもらえます。寒空の下でも、「いらっしやいませ!」と大きな声で挨拶をしてくれます。その姿を見るたびに、子供達は地域の宝だなと感じます。これから本格的な冬を迎えます。

編集後記

「あたたかさ」
十二月に入ると気温も落ち込み、本格的な冬を迎えたと感じました。先日、実習後の生徒との会話の中で「寒さは植物や動物も同じ。僕は寒さには負けませんが」と話してくれました。生命の尊さを肌

で感じながら学習すること、責任感ややる気がしっかり身についていると感じました。また、生徒の心のあたたかさを感じた瞬間でもありました。(甲)



風邪対策

- ①手洗い
- ②マスクの使用
- ③人ごみをさける
- ④咳エチケット
- ⑤生活習慣を整える

☆新年スタート

一月八日 始業式

十二月に入り、寒い日が続いています。冬休み中、風邪を引かないよう予防に心がけ、一月八日の始業式に全員が元気な姿で登校しましょう!